

授業方法を徹底された授業を見学して

教育学部 准教授
修士（教育学） 石崎達也

今回、養護教諭の教員採用試験合格をめざす2年生を対象とした、授業「養護教諭基礎演習Ⅰ」を見学させていただき、面川先生の授業を通して、改めて中島総長先生の授業方法について学ぶことができました。

まず、事前に配布された資料が非常に内容を絞った内容になっておりました。今回は、⑥創傷、捻挫、打撲、熱傷⑦熱中症（問題17、18、19）に取り組んでおりましたが、各問題について、問題・解説・解答を一文一文丁寧に学生に読ませ、重要部分を指摘し、アンダーラインを引かせる。次に、ストップウォッチで時間を測って、覚える時間を問題の難易度に応じて45秒～2分をしっかりとっていました。その後、覚えた解答をノートに書かせ、答えがあっているかどうか確認させていました。また、ミスしたところはすぐにチェックさせていました。

テキストの音読、暗記、解答をノートに書く、確認する、暗記という一連の学習活動が徹底されてきました。

今回私が学んだのは授業方法の中でも、学生への言葉かけと時間配分です。音読後にしっかりと拍手させる。読めない、難しい言葉があったら、すぐに丁寧に読み方を指導さえていました。「これから覚える時間は〇分。スタート！」「しっかり覚えて！」「はい。では7分間で復習の時間」等、先生の指示が的確なため、学生がやるのが授業見学をしている私からみても明確になっていました。

解答が早く終わった人は、覚える時間に使うように指示がありましたが、授業内で覚えることが徹底されてきました。

最後に確認テストを実施し、全問正解の人に手あげさせていましたが、ほとんどの学生が手をあげていました。

中島総長先生も授業後に、学生に対する激励の言葉の中に「面川先生の教え方で勉強して、毎回確認テストで満点とっていけば、必ず養護教諭の採用試験に合格できると思いますから、面川幸子先生の指導に従って、ゆっくり、ゆっくりでやって、この方法でやって、全員が受かっていただきたい」とおっしゃっていましたが、私自身も試験対策の授業を担当する際には、面川先生のやり方を真似て、一人でも多くの教員採用試験、公務員試験合格者を出せるように努めます。